

**1. 授業のねらい・概要**

C言語によりプログラミングの応用を学習し,高度なCプログラムが作成できるようになることがねらいである。

- (1) C言語のプログラムにより情報の可視化方法を、実習を通して習得する。
- (2) 配列や多次元配列を学習し、配列を使ったアプリケーションを開発する。
- (3) ポインタや構造体を使って、実用的なアプリケーションプログラムが作成できるようになる。

**2. 授業の進め方**

テキストの演習問題に基づいてプログラムを作成する。講義と実習中心の授業形式で進める。

**3. 授業計画**

1. 情報の可視化	9. ポインタと関数
2. [応用] バイオリズム	10. 構造体
3. 配列	11. 文字列
4. 多次元配列	12. [応用] アドレス帳
5. [応用] カレンダーの表示	13. [応用] 素数の計算
6. 関数と配列	14. [応用] 図形の描画
7. ポインタ	15. [応用] Web ページの作成
8. ポインタと配列	

**4. 到達目標**

プログラムの仕組みや、アルゴリズムの概念が理解できるようになること。

**5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容**

プログラムを理解するため、アルゴリズムを学習すること。

**6. 成績評価の方法・基準**

受講態度、実習課題の成果物、期末試験を総合して評価する。

**7. テキスト・参考文献**

テキスト：田原淳一郎・小林弘幸、「情報演習 6 ステップ 30 C言語ワークブック」、カットシステム

**8. 受講上の留意事項**

- ・受講条件として基礎科目である「プログラム言語 A」を受講していること。
- ・演習を中心に進めるので必ず出席すること。操作や意味がわからないときには積極的に質問をすること。